

DARTイオン化による臭素系難燃剤の分析

関連製品:質量分析計(MS)

Direct Analysis in Real Time (DART)は、アンビエントイオン化法の一種で、大気圧下、開放系で気体・液体・固体など様々な形態の試料や極性/非極性化合物に対して前処理なしに直接分析できるため、簡便で迅速なイオン化法として、いろいろな分野で活用されている。DARTTMイオン源は、JEOL製飛行時間質量分析計AccuTOFTMに装備し、開発された。 AccuTOFTMシリーズの大気圧インターフェイスは堅牢で汚れに対する高い耐久性をもち、DARTTMに用いられるヘリウムガスを特別な補助手段(VAPURなど)の追加なしに排気可能である。そのため、サンプル導入のための空間を比較的自由に確保でき、様々な形態のサンプルに対応が容易となる。また、他社製品へのDARTTMイオン源接続では必須のVAPURが不要であり、プロトン親和力の低いイオンの消失などをはじめとする諸問題も回避することができる[1]。本報告では、このような特徴を活かし、耐衝撃性ポリスチレンに添加した、デカブロモジフェニルエーテル、トリス(トリブロモフェノキシ)トリアジン、テトラブロモビスフェノールA、ヘキサブロモシクロドデカンを容易に検出できたので報告する。



Fig. 1 DART[™] ion source

実験

サンプルは、デカブロモジフェニルエーテル、トリス(トリブロモフェノキシ)トリアジン、テトラブロモビスフェノールA、ヘキサブロモシクロドデカンを 下記の割合で添加した耐衝撃性ポリスチレンを用いた(Table 1)。装置および測定条件をTable 2に示す。

化合物	組成式	添加量
デカブロモジフェニルエーテル	C ₁₂ OBr ₁₀	1%
トリス(トリブロモフェノキシ)トリアジン	$C_{21}H_6N_3O_3Br_9$	1%
テトラブロモビスフェノールA	$C_{15}H_{12}Br_4O_2$	5%
ヘキサブロモシクロドデカン	$C_{12}H_{18}Br_{6}$	5%

Table 1 Brominated flame retardants in high impact polystyrene

Table 2 Measurement conditions

装置		測定条件		
質量分析計	JMS-T100LP "AccuTOF™" シリーズ	イオン化モード	DART (+)	DART (-)
イオン源	DART [™] SVP	Heガスヒーター温度	500℃	400℃
		オリフィス1電圧	20 V	-20V

結果

Fig. 2-5に、デカブロモジフェニルエーテル、トリス(トリブロモフェノキシ)トリアジン、テトララブロモビスフェノールA、ヘキサブロモシクロドデカンのマスス ペクトルを示す。ヘキサブロモデカンのみ負イオンモードでイオンを検出できた。Fig. 2にデカブロモジフェニルエーテルのマススペクトルを示す。960付近 のピークが観測されたが、これは同位体パターンからM⁺⁺と[M+H]⁺が同時に観測されると推定した(イオン量としては[M+H]⁺が多い)。また、*m/*z 879付近 に臭素原子が1つ脱離したピークも観測された。次に。Fig. 3にトリス(トリブロモフェノキシ)トリアジンのマススペクトルを示す。*m/*z 1067付近の同位体パ ターンから[M+H]⁺が観測された。



日本電子株式会社 ると

本誌の記載内容は予告なしに変更することがあります。本誌掲載の商品は外国為替及び外国貿易法の規制品に該当する場合がありますので、輸出す るとき、または日本国外に持ち出すときは弊社までお問い合わせ下さい。 Copyright © 2019 JEOL Ltd. Fig. 4にテトラブロモビスフェノールAのマススペクトルを示す。*m/z* 544付近の同位体パターンからM⁺⁺として観測された。比較的低分子ゆえに共雑物の影響も大きいが、高い分解能により他のピークとの分離ができている。最後にFig. 5にヘキサブロモシクロドデカンのマススペクトルを示す。*m/z* 641付近の同位体パターンから[M-H]-として観測された。また、そのほかに80u大きい、[M+Br]-も顕著に観測された。

参考文献

JEOI

[1] MSTips No. 221 DART™とアンビエントイオン化法にとって理想的な構造を持ったAccuTOF™ LCシリーズの大気圧インターフェイス







Copyright © 2019 JEOL Ltd.

このカタログに掲載した商品は、外国為替及び外国貿易法の安全輸出管理の規制品に該当する場合がありますので、輸出するとき、または日本国外に持ち出すときは当社までお問い合わせ下さい。

 中本電子株式会社
 本社・昭島製作所

 〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3-1-2 TEL: (042) 543-1111(大代表) FAX: (042) 546-3353

 Www.jeol.co.jp
 ISO 9001 · ISO 14001

 認証取得

東京車務所 〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目1番1号 大手町野村ビル 業務統括本部 TEL:03-6262-3564 FAX:03-6262-3569 プランドコミュニケーション本部 TEL:03-6262-3560 FAX:03-6262-3577 SI営業本 SI版作室 TEL:03-6263-3567 FAX:03-6262-3577 ソリューション推進室 TEL:03-6262-3566 産業機器営業部 TEL:03-6262-3570 SE営業部 TEL:03-6262-3569 ME/ビリューション振程室 TEL:03-6262-3571

